

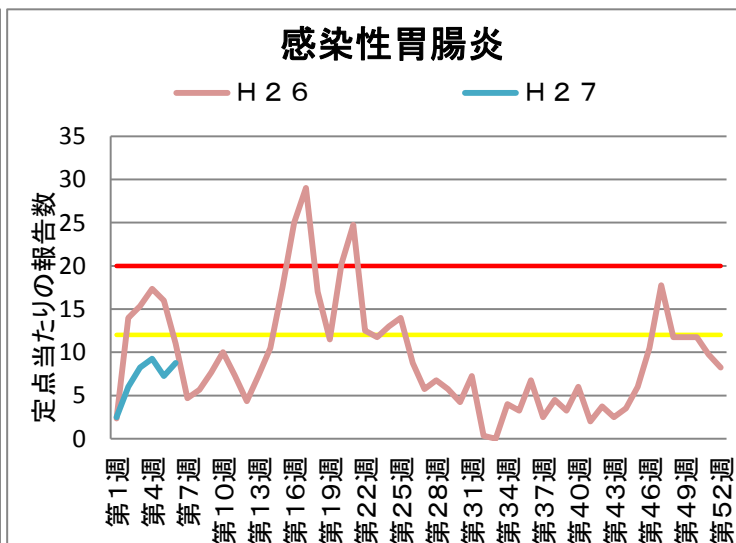
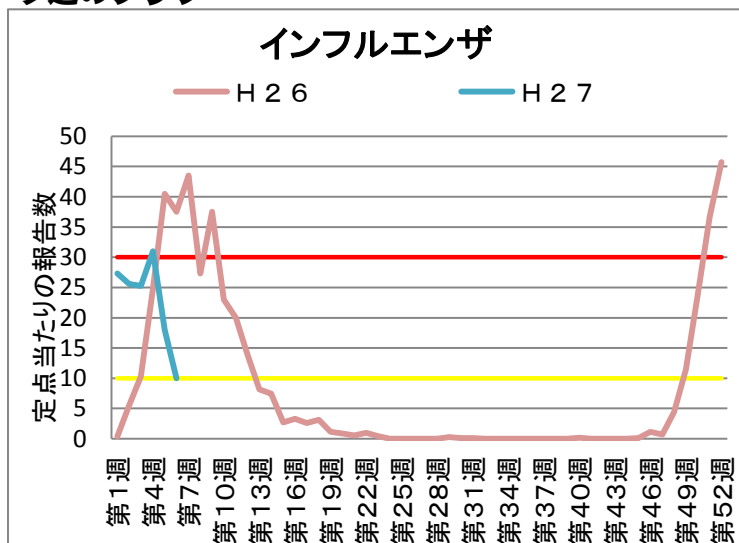
# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 6 週 平成27年2月2日 ~ 平成27年2月8日

## 今週のコメント

① インフルエンザの報告はさらに減少し、定点あたりの報告数10.0件でした。国内の直近の5週間のインフルエンザ検出状況では、これまでと同様に、依然としてAH3亜型の検出割合が最も多く(約97%)、次いでB型、AH1pdm09の順となっています。流行のピークは越えましたが、引き続き、うがいや手洗いの励行、外出時のマスクの着用、咳エチケットなどを心がけましょう。② 感染性胃腸炎の報告は、横ばいで、定点あたりの報告数8.75件でした。

## 今週のグラフ



\* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	10	手足口病	2.25
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	0.5
咽頭結膜熱	0.25	突発性発しん	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.5	百日咳	-
感染性胃腸炎	8.75	ヘルパンギーナ	-
水痘	0.25	流行性耳下腺炎	-

定点当たりの報告数 = 一週間の報告件数総数 / 定点数

\* 乙訓管内 インフルエンザ定点数: 7箇所、小児科定点数(インフルエンザ以外の疾病): 4箇所

## 参考資料等

報告週対応表

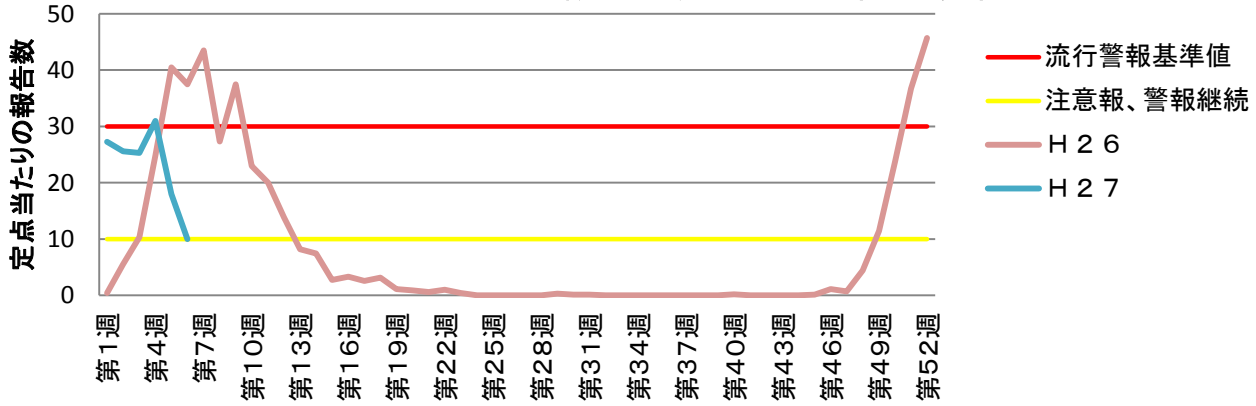
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

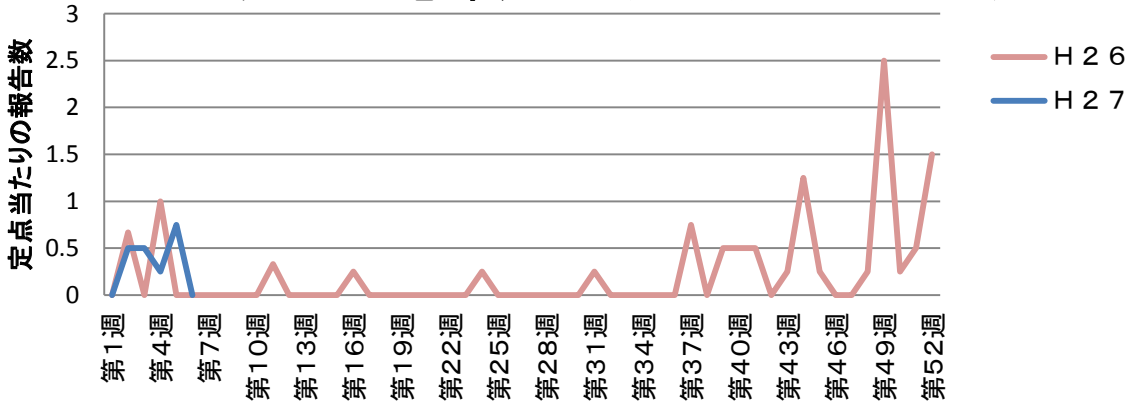
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

## 定点報告による各疾病の推移

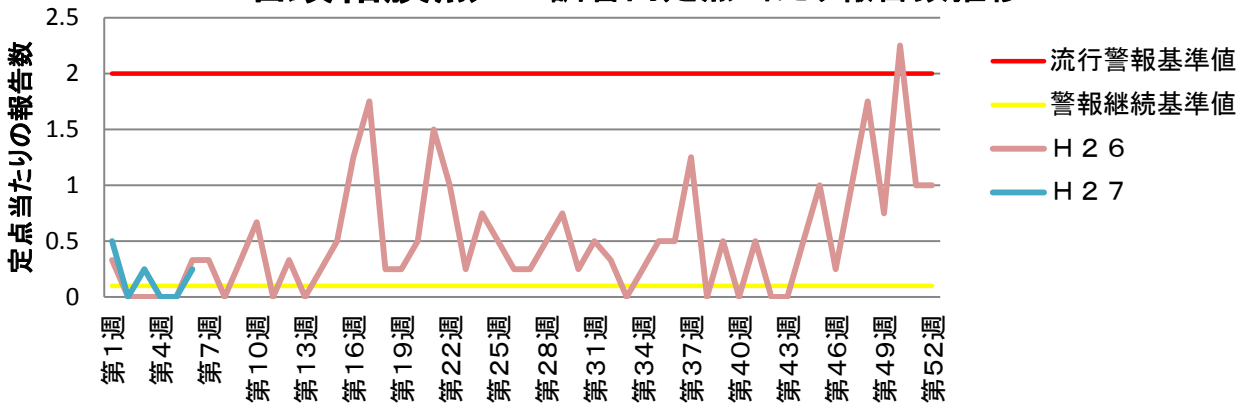
## インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



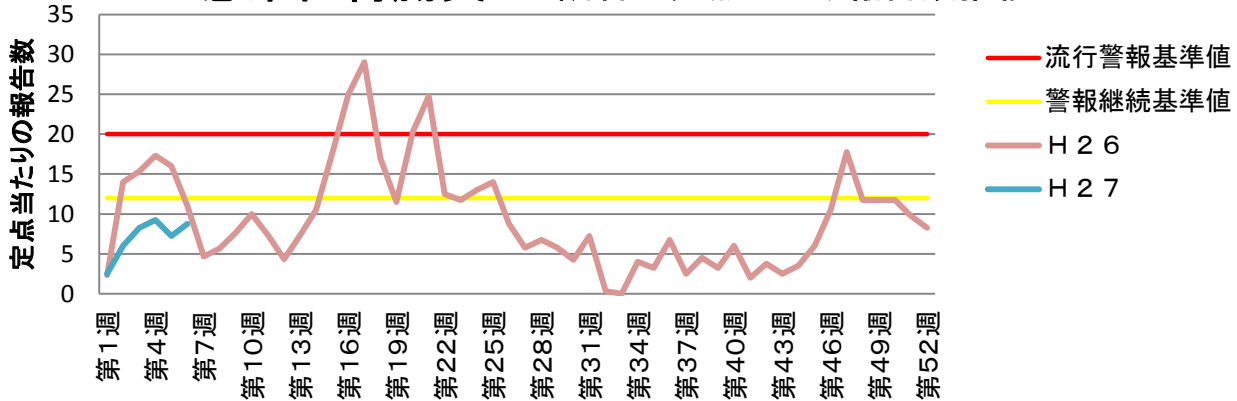
## RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



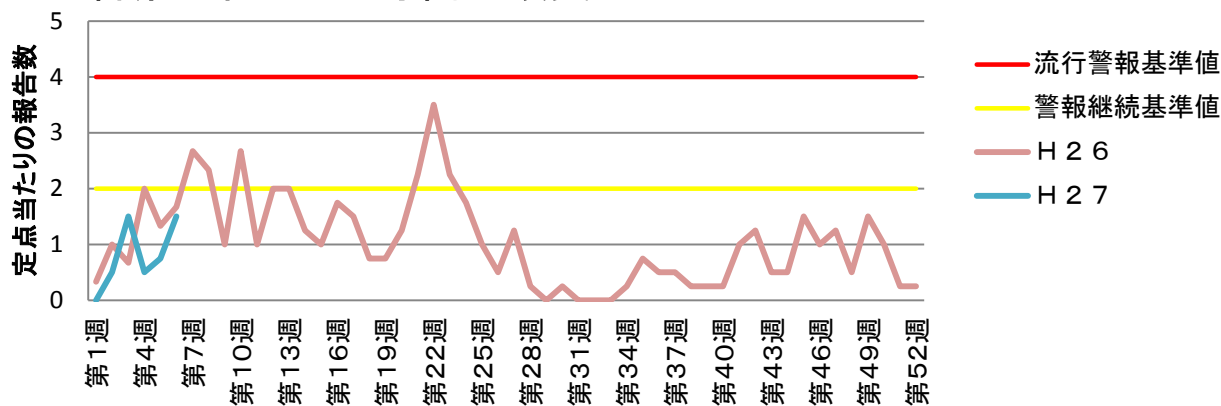
## 咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



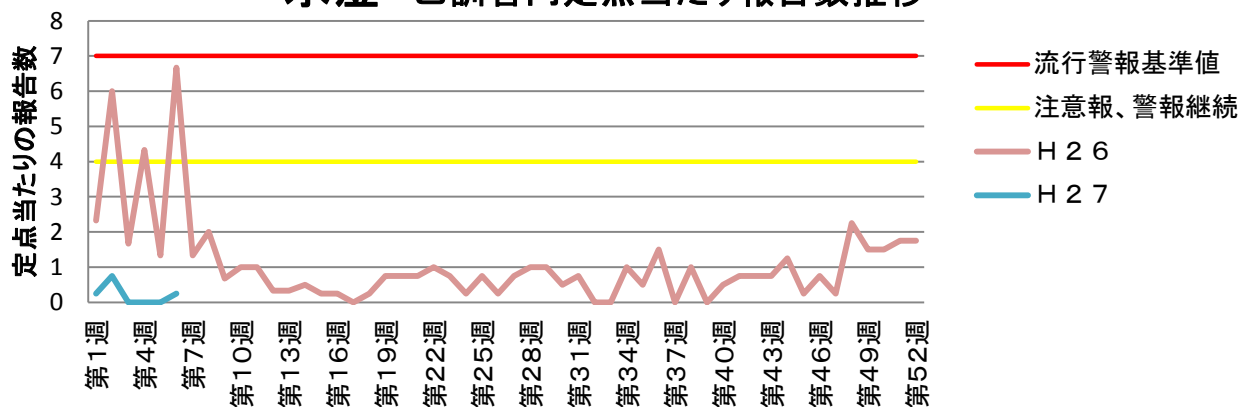
## 感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



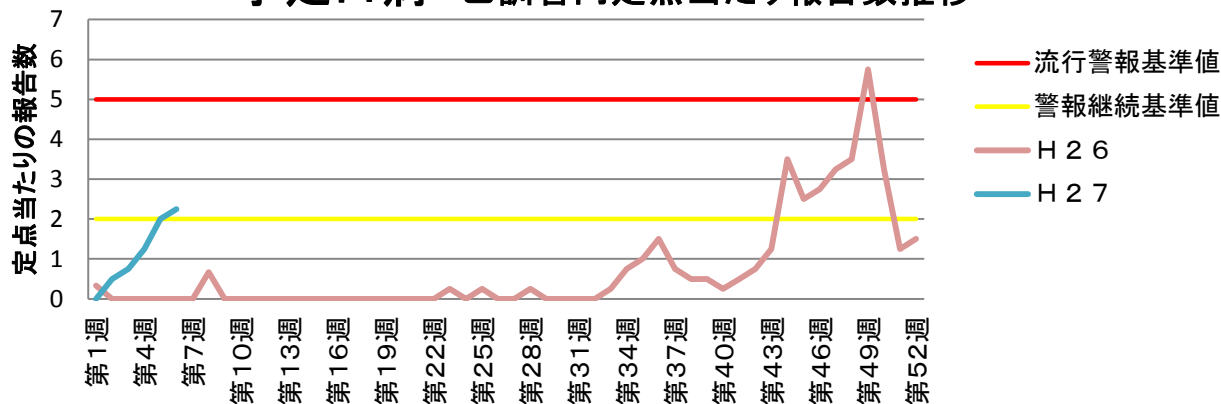
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



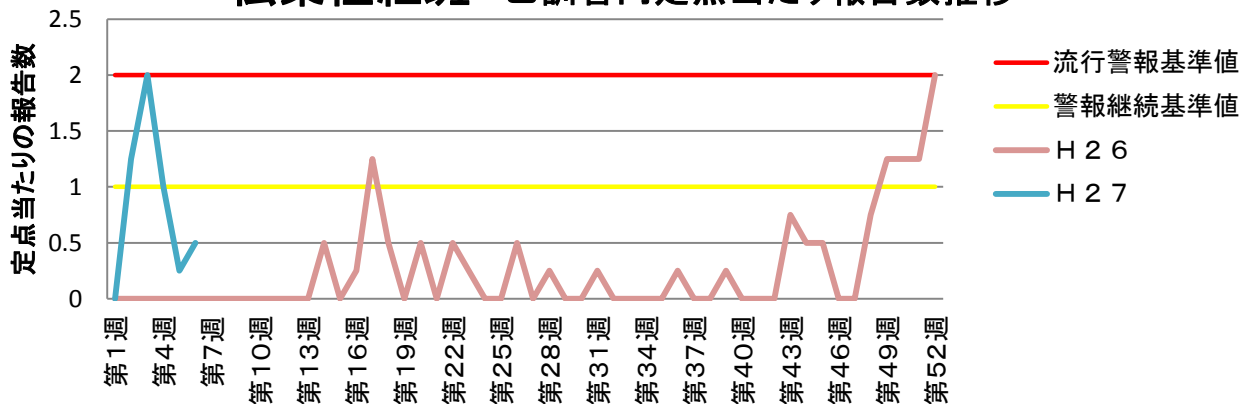
### 水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



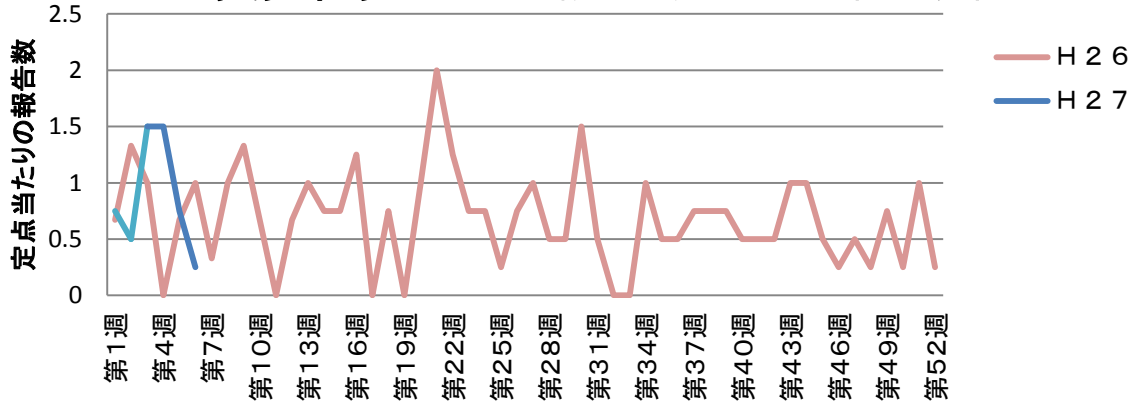
### 手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



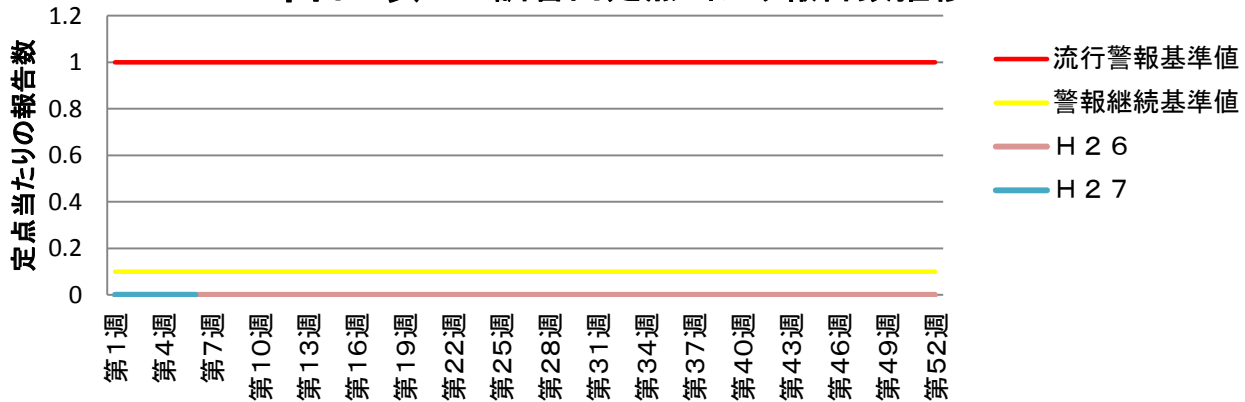
### 伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



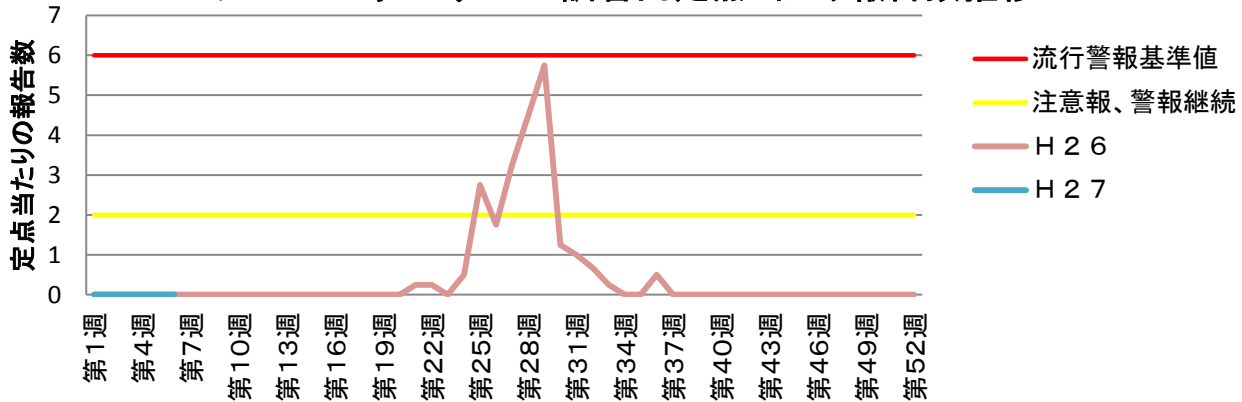
### 突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



### ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

